

硬質塩化ビニル管の耐薬品性(参考)

薬品名	温度℃		
	20	40	60

●無機酸類

塩酸 35%	◎	◎	○
塩素水	○	△	—
次亜塩素酸 10%	◎	◎	○
シアン酸	◎	◎	◎
硝酸 70%	○	○	△
硝酸 95%	×	×	×
H ₂ SO ₄ :HNO ₃ 混酸			
50～40%:20～40%	◎	○	—
50%:50%	○	×	—
CrO ₃ :H ₂ SO ₄ 混酸			
25%:20%	○	○	○
弗化水素酸 10%	○	○	○
硫化水素	◎	◎	◎
硫酸 60%	◎	◎	◎
硫酸 98%	○	△	×
磷酸 30%以上	◎	○	○

●有機酸類

オレイン酸 100%	◎	◎	◎
蟻酸 100%	◎	○	×
蟻酸 50%	◎	◎	△
クロール酢酸	◎	◎	○
酢酸 95%未満	◎	○	×
酢酸 95%以上	○	×	×
脂肪酸	◎	◎	◎
蔞酸	◎	◎	◎
乳酸 50%	◎	◎	◎
ピクリン酸	×	×	×
マレイン酸 44%	◎	◎	○
酪酸 20%	◎	—	—

●アルカリ類

アンモニア水 30%	◎	◎	△
水酸化ナトリウム	◎	◎	◎
水酸化カリウム	◎	◎	◎
石灰乳・石灰水	◎	◎	◎

●有機薬品類

アセトアルデヒド	×	—	—
アセトン	×	—	—
アニリン	×	—	—
油・脂肪	◎	◎	◎
エチルアルコール	◎	◎	◎
エチルエーテル	×	—	—
エチレンクロライド	×	—	—
可塑剤	×	—	—
可塑剤入りシール剤	×	—	—
ガソリン	△	△	△
グリセリン	◎	◎	◎
クレゾール水溶液5%	○	△	×
クロロホルム	×	×	—
ケトン類	×	—	—

摘要 ◎: 全く浸食されない ○: 浸食されないと見る

△: 若干浸食される ×: 浸食される

備考 基本データは、DIN16929-1957から抜粋し、現在までの知見で修正した結果である。

下水道用硬質塩化ビニル管技術資料〈性能編〉(塩化ビニル管・継手協会)による

排水及び下水用途に使用した場合。

薬品名	温度℃		
	20	40	60

酢酸エステル	×	×	—
四塩化炭素	×	×	×
石油	△	△	△
トリクロロエチレン 100%	×	×	×
トルエン 100%	×	×	×
二硫化炭素	×	×	×
フェノール 6%	○	△	×
ブタノール	◎	◎	○
ベンゼン	×	×	×
芳香族炭化水素	×	×	×
ホルムアルデヒド(ホルマリン)	◎	◎	◎
メチルアルコール	◎	○	△
メチレンクロライド 100%	×	×	×
ラッカーシンナー	×	×	×

●無機塩類

大概の金属塩化物・硝酸塩・硫酸塩	◎	◎	◎
過塩素酸カリウム	◎	○	—
過マンガン酸カリウム	◎	○	—
重クロム酸カリウム	◎	○	○
二硫化ナトリウム	◎	◎	△
次亜塩素酸カリウム(さらし粉)	◎	—	—
硫酸アルミニウム	◎	◎	◎
硫酸アルミニウム・カリウム(明礬)	◎	◎	◎

●ガス類

塩素ガス乾性 100%	△	×	×
塩素ガス湿性 5%	△	×	×
亜硫酸ガス乾性	◎	◎	◎
亜硫酸ガス湿性	◎	◎	○
アンモニア	◎	◎	◎
その他多くのガス	◎	◎	○
天然ガス	◎	◎	—
石炭ガス	○	○	—

●その他

漂白剤	◎	◎	—
各種メッキ液	◎	◎	○
写真感光乳剤	◎	◎	—
写真現像液・定着液	◎	◎	—
海水・塩水	◎	◎	◎
発酵アルコール	◎	○	—
木材防腐剤(クレオソート)	×	—	—
白あり駆除剤	×	—	—
アスファルトプライマー	×	—	—
アスファルトコンパウンド	×	—	—
アスファルトルーフコーティング	×	—	—
舗装用タールC-1	○	—	—
舗装用タールC-3	○	—	—
舗装用タールA-5	○	—	—
舗装用タールB-3	×	—	—
舗装用タールB-5	×	—	—